

2026年度版



青森県

令和8年3月

# 目次

序章 青森新時代「農林水産力」強化パッケージの基本的な考え方 … 1

## 第1章 現状と課題

- I これまでの取組の成果と検証
- II 本県農林水産業を取り巻く情勢
- III 青森県基本計画を実現していく上で農林水産業が果たす役割  
(第1章については、2024年度版パッケージを参照)

## 第2章 青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

- I 概要 … 2
- II 主な特徴 … 3

## 第3章 具体的な施策

- I 4つの柱の取組内容 … 4
- II プロジェクトの概要 … 5
- III 令和8年度の取組内容 … 6
- IV 重点項目 … 8
- V プロジェクト
  - 1 販売力強化 – 所得向上につながる販売戦略の展開 – … 14
  - 2 生産性向上 – 利益の最大化を目指す生産性向上 – … 18
  - 3 人財育成 – 次代を担う人財の確保・育成 – … 46
  - 4 農山漁村振興 – 元気で豊かな農山漁村づくり – … 51
- VI プロジェクト以外の継続的な取組 … 58
- VII 所得向上プログラム … 62

## 第4章 青森県基本計画「青森新時代」への架け橋 … 70

(農林水産関係部分を抜粋)

### <参考1>

- プロジェクトの目標一覧 … 75

### <参考2>

- 青森県「農林水産力」強化本部設置要領 … 79

## 1 策定の趣旨

本県の農林水産業は、地域の経済・社会を支える基幹産業であるとともに、国民に対する食料の安定供給や、環境保全などの面で重要な役割を果たしています。

しかし、人口減少の進行による農山漁村の担い手の減少や、気候変動等による自然災害の激甚化、国際情勢を背景とした燃油・資材価格の高騰など大きな課題に直面しています。

また、国際社会では、2030年までに持続可能な開発目標(SDGs)を達成するため、持続可能な食料システムの構築が求められており、国でも、2021年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに化学農薬の使用量低減や有機農業の取組面積の拡大を図ることなどの目標を掲げています。

このような社会情勢の変化に対応し、「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」で掲げる「農林水産業が持続的に発展する社会」を実現するため、具体的な取組をまとめた政策パッケージを策定するものです。

## 2 パッケージの性格と役割

本パッケージを「青森県基本計画『青森新時代』への架け橋」を推進する農林水産分野のアクションプランとして位置付けます。

本パッケージでは、品目・分野に着目し、特に重点的に取り組む内容を「プロジェクト」として整理します。

さらに、生産者が所得向上に取り組む内容をイメージできるように、「品目別所得向上プログラム」を示すほか、継続的な取組も盛り込みます。

プロジェクトは、社会情勢の変化、事業のスクラップ&ビルドに応じて、毎年度見直しをします。

## 3 パッケージの名称

基本計画の政策目標である「豊かさを実感できる力強い農林水産業の実現」をコンパクトに「農林水産力」と表現しました。

また、生産者個々の技術力や、豊かな地域資源を生かした生産・販売力、農山漁村の活力を結集して収益力を高めていく思いを込めています。

## 4 パッケージの期間

「青森県基本計画」に合わせ、2024年度(令和6年度)から2028年度(令和10年度)までの5か年とします。

I 概要

青森県基本計画「青森新時代」への架け橋では、農林水産業に関する施策や取組が、政策テーマ「しごと」を中心に、多岐に渡っています。

基本計画の政策テーマ「しごと」では、2040年に目指す姿として「農林水産業が持続的に発展する社会」を掲げています。

このため、農林水産業が持続的に発展する社会の実現に向けた取組を①販売力強化、②生産性向上、③人財育成、④農山漁村振興の4つの柱に整理し、政策パッケージとして策定します。

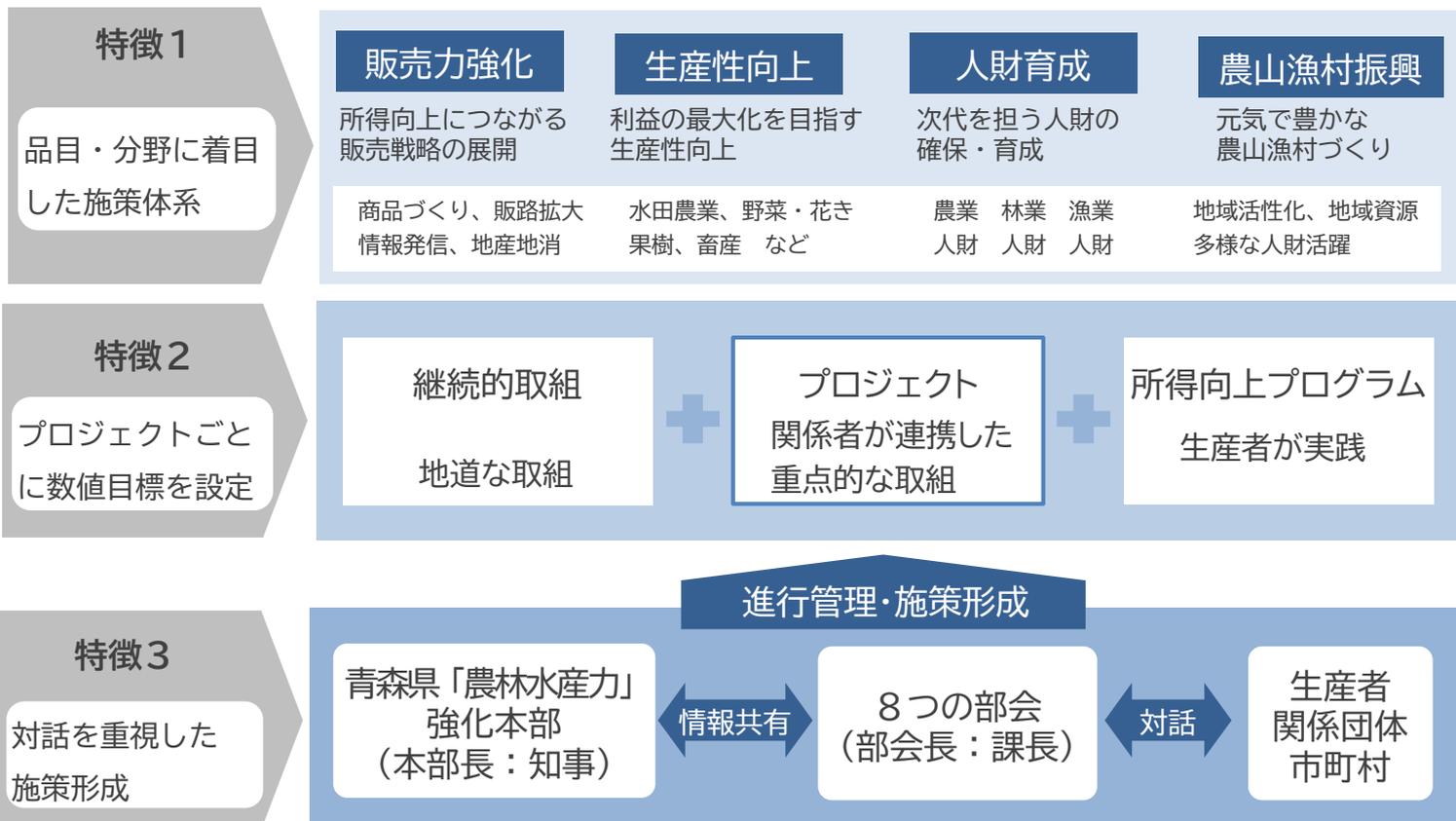
青森県基本計画「青森新時代」への架け橋の概要

青森県 基本計画	基本理念	AX (Aomori Transformation) ▶ AXの基盤 「挑戦」「対話」「DX」					
	めざす姿	若者が、未来を自由に描き、実現できる社会					
	政策テーマ	しごと	健康	こども	環境	交流	地域社会



青森新時代「農林水産力」強化パッケージの概要

めざす姿 ▶ 農林水産業が持続的に発展する社会



## Ⅱ 主な特徴

### 特徴1 品目・分野に着目した施策体系

生産者や関係団体が理解しやすいように、品目・分野に着目して施策を分類した上で、このうち、特に重点的に取り組むものをプロジェクトとして整理し、施策を展開します。

### 特徴2 プロジェクトごとに数値目標を設定

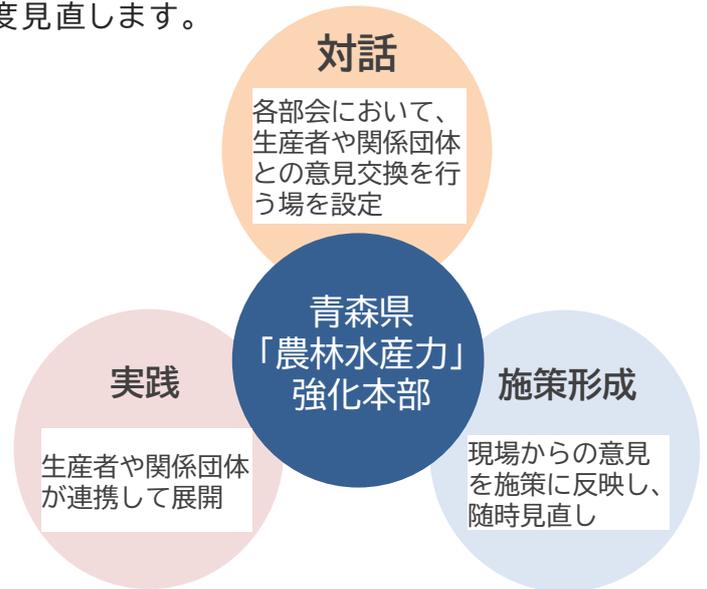
プロジェクトごとに目標や挑戦する内容を設定し、実効性を高めるため、関係者がどのように連携していくのかを明確にするとともに、進捗状況を確認しながら、同じ目標に向かって取組を進めます。

プロジェクトは、関係事業の改廃に合わせて毎年度見直します。

### 特徴3 対話を重視した施策形成

知事を本部長とする本部の下、分野ごとに部会を設置し、生産者や関係団体と連携して施策を展開します。

また、現場からの意見を施策に反映させるため、各部会の企画により、生産者や関係団体のキーパーソンとの意見交換を随時行います。



### 【青森県「農林水産力」強化本部組織図】

